

科目名		ディスプレイ実習Ⅰ			
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 意図・プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返して学習レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した制作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示し、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	2年次に受検する「商品装飾販売技術士3級」合格率100%を目指す。空間構成、装飾、演出の基礎を習得する。商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策とともに就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。学内スペースを演出し、空間装飾力を身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①商品装飾販売技術士3級の過去問題(学科・実技) ②ファッションビジネス検定3級・2級 リテールマーケティング3級のテキスト抜粋 ③おたまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	年間販促カレンダー ①1年間のカレンダーを作りと販促の流れ ②季節感をつかむ。	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
2	立体の基本構成 ①立体構成のコラージュ作成 ②立体構成を実際に飾る	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
3	ラッピング基本 ①軒まき ②キャメル包み1・2 ③リボン結び	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、ラッピングの基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
4	POPの基本 ①小文字ひらがな、②カタカナ、 ③アルファベット、④数字、漢字	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、POPの基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
5	WDOの知識 ①小テスト ②VP、PP、IPの使い分け	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、WDOの基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
6	生活感の表現方法 ①母の日・父の日の演出 ②立体構成などの+ラッピング+POP	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
7	学内スペースの演出 ①夏・秋のイメージの空間演出	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
8	平面構成の基本 ②装飾の飾り方実技	方法：作成方法の説明と解説し、課題の実習各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題の完成度、理解度、課題提出回数、小テストの成績、授業態度、などを考慮して総合的に判断して評価する。		インテリアにおいて立物の構成力は重要な要素のひとつです。WDOの基礎をしっかりと身につけて空間演出を習得する段階的に、練習課題等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントもしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。			
課題の完成度80% 授業態度・意欲10% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴 ディスプレイ業界において、30年実務に携わる					

科目名		ディスプレイ実習Ⅰ			
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 意図・プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返して学習レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した制作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示や校外の実店舗で実習し、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	2年次に受検する「商品装飾販売技術士3級」合格率100%を目指す。空間構成、装飾、演出の基礎を習得する。商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策とともに就業時の即戦力になれるpop、ラッピング技術の習得を目指す。学内スペースを演出し、空間装飾力を身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①商品装飾販売技術士3級の過去問題(学科・実技) ②ファッションビジネス検定3級・2級 リテールマーケティング3級のテキスト抜粋 ③おたまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	テーブルコーディネート ①座席、和食の基本的コーディネート ②ヤマシタ演出時の実践練習及び技能取得	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
2	ヤマシタ店内演出実習 ①ヤマシタの店内調査 ②クリスマス店内演出(売り場、商品のしくみを知る)	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
3	学内演出 ①学内スペースを装飾演出 ・クリスマス・・・大規模な空間演出 ・Spring・・・色使いなどで季節のときどき	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
4	WDOの知識 ①WDO (VP, PP, IP) の違い ②役割の違い ③店内演出方法 ④小テスト	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、WDOの基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
5	演出物の作成 ①イベントを盛り上げるオブジェの作成 ・クリスマス装飾の店内演出とオブジェの重要性	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
6	コーナーインテリア ①雑誌を切り取りし、部屋のコーナー作成(装飾) ②家具のテキスト、色使い	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
7	POP・ラッピングの実習 ①基本～応用の練習	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、販促計画の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題の完成度、理解度、課題提出回数、小テストの成績、授業態度、などを考慮して総合的に判断して評価する。		インテリアにおいて立物の構成力は重要な要素のひとつです。WDOの基礎をしっかりと身につけて空間演出を習得する段階的に、練習課題等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントもしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。			
課題の完成度80% 授業態度・意欲10% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴 ディスプレイ業界において、30年実務に携わる					

科目名		ディスプレイ実習Ⅱ			
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	96時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 意図・プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返して学習レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した制作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として実際の店舗ディスプレイ実習を行い、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	7月に実施される商品装飾販売技術士3級、全員合格を目指す。(後考者に贈られる新潟県表彰も視野に入れる)1年次に学んだ演出をさらに広げ、学内スペースを演出する。2年度となるヤマシタでのさらに完成度の高い演出をさせていだけ、検定対策練習、演出の応用による習得で就業時の即戦力を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	商品装飾販売技術士3級の過去問題(学科・実技) ファッションビジネス検定3級・2級・リテールマーケティング3級テキスト抜粋 おたまたせしない実用ラッピング・POP広告制作マニュアル+オリジナル				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	検定対策 ①学科、実技の過去問の取り組み ②POP、ラッピングの手取り練習 ③実技課題(6月上旬発表後の事後練習)	方法：検定問題の説明と解説し、練習課題の実習、学科、実技とも合格基準に達している。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
2	部屋のコーナー演出 ①コラージュによる販促演出のシミュレーション ②学内スペースによる販促演出	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習、レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
3	テーマカラーの演出 ①母の日・父の日のPOPラッピング、販促ツールの作成 ②学内スペースに際し、演出 ③マイクロSDXを使い色の出し方の実技	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
4	ヤマシタ 校外実習 ①店内見学→コーナー確認→商品セレクト→企画書 ②企画書を基に再現、演出→現場撮影→報告書 (コーナー演出やテーマカラーの重要性を学ぶ)	方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習各課題の条件を把握し、計画とスケジュール管理、各技法の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
検定対策、授業態度・意欲、商品の適切な扱い、課題の完成度、グループ課題時の協調性、課題提出回数等、などを考慮して総合的に判断して評価する。		科目は検定全員合格を目指すため、学科、実技課題ともに合格基準点を目標とする。インテリアにおいて立物の構成力は重要な要素であり、WDOの基礎をしっかりと身につけて空間演出を習得する段階的に、練習課題等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントもしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。後半は、実際の店舗での実習のためのマナーやスケジュール管理にも留意する。			
完成度・検定結果80% 態度・意欲10% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴 ディスプレイ業界において、30年実務に携わる					

科目名		ディスプレイ実習Ⅱ			
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	96時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 意図・プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返して学習レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した制作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として実際の店舗ディスプレイ実習を行い、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	ディスプレイ実習の2年間の総まとめを行います。今までのディスプレイ技術を応用し、大きなシェルフに飾り付けを行う。販促ツールであるオブジェを自らデザインし、それをディスプレイ付ける。より実践的なディスプレイ技術を身につけ、仕事でも役に立つ人材育成を目指します。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①おたまたせしない実用ラッピング・ ②POP広告制作マニュアル+オリジナルプリント等				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	学内演出 【各フロアの演出】 テーマ: Action ハロウィン、クリスマス、お正月 or Spring ①企画書作成(テーマ: シーン別にプランニング) ②販促ツール、ラッピング、POPも含む ③商品設定(セレクト) ④企画書を基に再現演出 ⑤撮影→報告書	方法：作成方法の説明と解説し、特定の課題を一つ一つ制作する。 販促計画の基本とテーマに合わせた企画書が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
2	ヤマシタ 校外実習 テーマ: クリスマスディスプレイ ①店舗ショーウィンドウの飾り付け ②店内見学→コーナー確認→商品セレクト ③企画書→企画書を基に再現、演出→現場撮影→報告書 (コーナー演出やテーマカラーの重要性を学ぶ) ④作成のクリスマス販促ツール、ラッピング等使いVP演出	方法：作成方法の説明と解説し、特定の課題を一つ一つ制作する。 販促計画の基本とテーマに合わせた企画書が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手帳を練習する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
検定対策、授業態度・意欲、商品の適切な扱い、課題の完成度、グループ課題時の協調性、課題提出回数等、などを考慮して総合的に判断して評価する。		科目は検定全員合格を目指すため、学科、実技課題ともに合格基準点を目標とする。インテリアにおいて立物の構成力は重要な要素であり、WDOの基礎をしっかりと身につけて空間演出を習得する段階的に、練習課題等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントもしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。後半は、実際の店舗での実習のためのマナーやスケジュール管理にも留意する。			
完成度80% 態度・意欲10% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴 ディスプレイ業界において、30年実務に携わる					